

社会貢献顕彰 企業フィランソロピー大賞 尾畑酒造(真野新町)特別賞

廃校を酒造りを学べる仕込み蔵「学校蔵」として再生させ、研究機関の拠点としても活用する尾畑酒造(佐渡市真野新町)が、企業の社会貢献を顕彰する「第21回企業フィランソロピー大賞」の特別賞に選ばれた。「多岐にわたる活動が人の輪を広げている」と評価された。同酒造は「今後の活動へのエールとして大変励



「学校蔵」を軸に交流促進

みになる」と喜んでいる。

同賞は社団法人、日本フィランソロピー協会(東京)が、自社の経営資源を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰するため、2003年に創設。有識者ら4人が「革新性」「波及性」「経営との関連性」などの5点をポイントに選考する。

特別賞として、「島を興す酒蔵賞」に選ばれた尾畑酒造は、廃校になった旧西三川小を酒造りを学べる仕込み蔵にし、日本酒ファンや外国人らから人気を集めている。

また著名人を招き佐渡や日本の未来を考える「学校蔵の特別授業」を展開しているほか、東京大や芝浦工大の教授や学生が、地域の課題解決に向けた研究の拠点にしている。こうした活動が「佐渡での酒造と佐渡そのものの持つ可能性を極める取り組み」と高く評価された。

尾畑酒造の尾畑留美子専務は「学校蔵は資源もエネルギーも人も循環させるサステナブル・ブリュワリーを目指している。佐渡島ならではの循環型酒造りを実践していきたい」とコメントした。

贈呈式は3月1日、東京都内で行われる。

学校蔵での酒造り研修は外国人にも人気。プロの醸造家らも訪れる＝2023年8月、佐渡市西三川



2024年(令和6年)
1月17日
水曜日